

障害のある患者さんを う蝕と歯周病から 守るためにできること



場所： 第2会場 2F エンプレスホール

日時： 2023年11月11日(土)
12：35～13：35

講師：

天野 敦雄 先生

大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学講座 教授

カリオロジーの大家・Fejerskov博士は「全身麻酔下での全面的な修復治療では、期待する結果は残せない。数年後には新たなう蝕が発生する」と言っています。「削る・詰める」ではう蝕は押さえられないのです。では、障害のある患者さんをう蝕と歯周病から守るにはどうしたらいいのでしょうか。我々にできることはひとつしかありません。プラークの病原性を低い状態に保つ努力を続けるのです。プラークが高病原化した状態をdysbiosisと呼びます。う蝕と歯周病のdysbiosis化のメカニズムを知り、高病原化を防ぐ努力を続けることしかないのです。最新の病因論と、病因論に基づいた予防法、エビデンスのあるOral Care商品（フッ化物、S-PRG、クルクミン）のお話しをさせていただきます。

共催 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
株式会社松風



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風